85464359632002

試運転担当のかたへ

（HFC系冷媒R410A用）

室外ユニット	スーパーエスパシオⅡ	40、45形専用
	エスパシオ	40～63形専用

本試運転担当のかたへは、室内ユニットに添付されている試運転担当のかたへと異なる部分のみ記載しています。室内外ユニットには他に「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」「試運転担当のかたへ」の説明書が添付してあります。必ず参照してください。

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線が必要になります。リンク配線の場合参照

1．試運転前の確認項目

1　手元電源スイッチは圧縮機保護のため12時間以上前に入れてください。

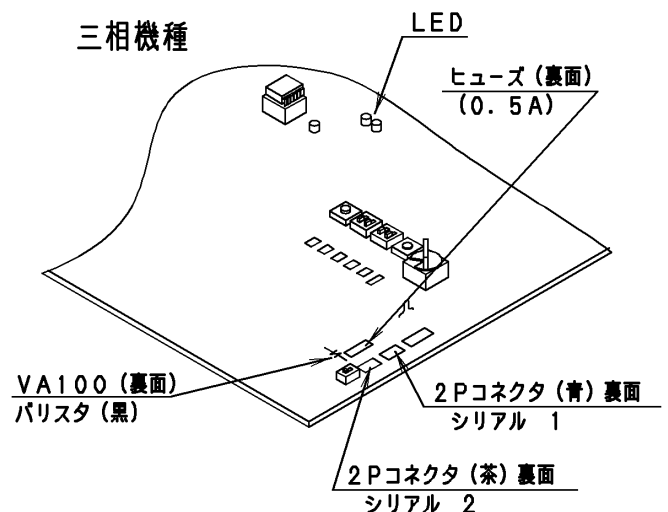
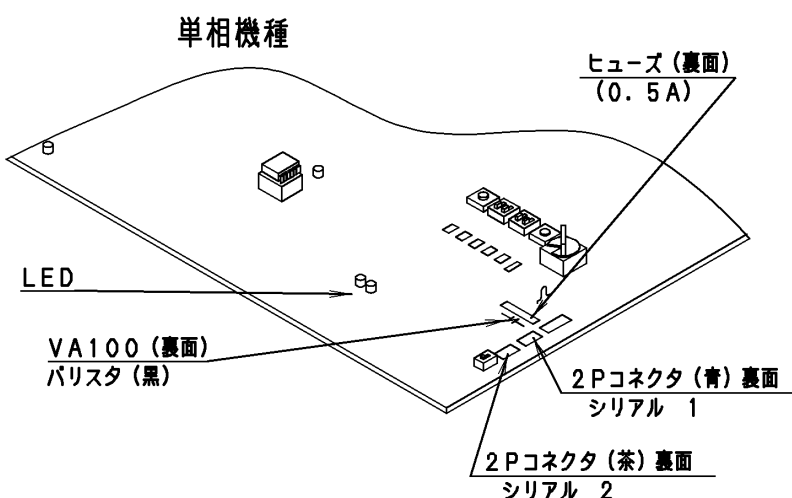
2　ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

2．注意事項

● 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行ってください。そして"取扱説明書"を説明した上で、実際に操作していただいてください。

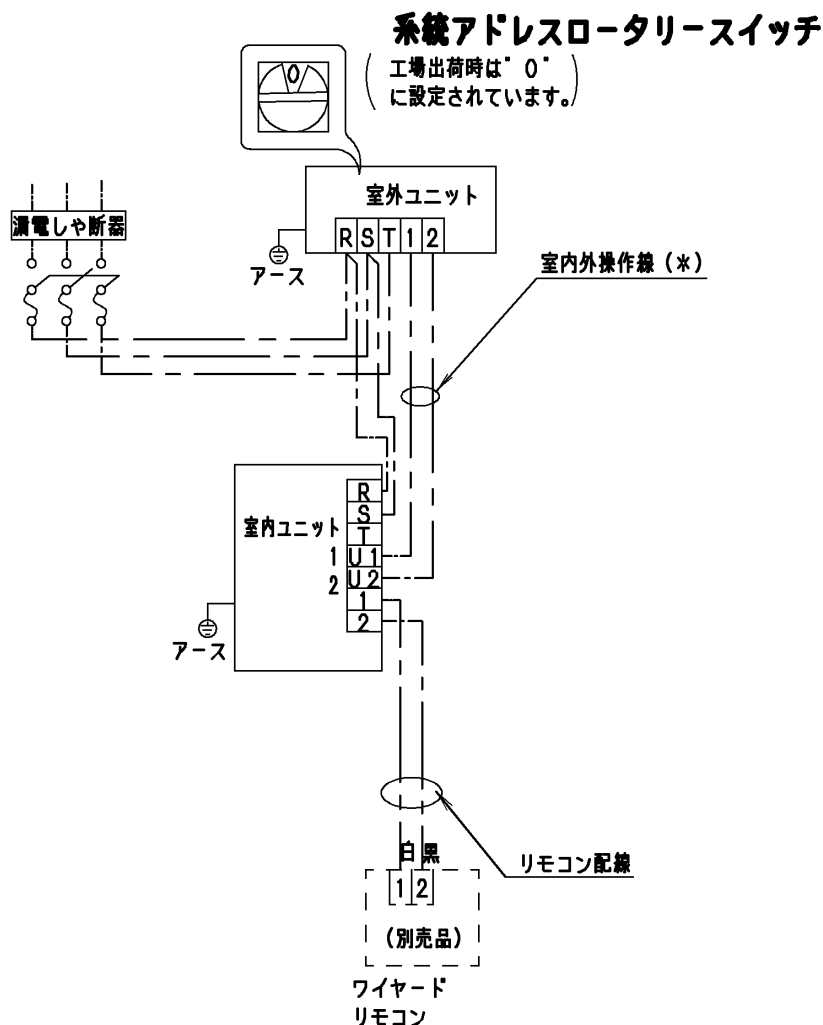
●「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。

●室内外操作線接続用端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
※誤ってAC200Vを印加した場合は、室内外コントロール基板のヒューズ（室内外共、0．5A）を溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されている2Pコネクタ（室内、青、OC、CN40）（室外、青、シリアル1）を外して、2Pコネクタ（室内、茶、EMG、CN44）（室外、茶、シリアル2）にそれぞれ差し換えてください。
茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、バリスタ（黒）（室内外共）をカットしてください。
（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください。）

室外コントロール基板

３．システムコントロールする場合

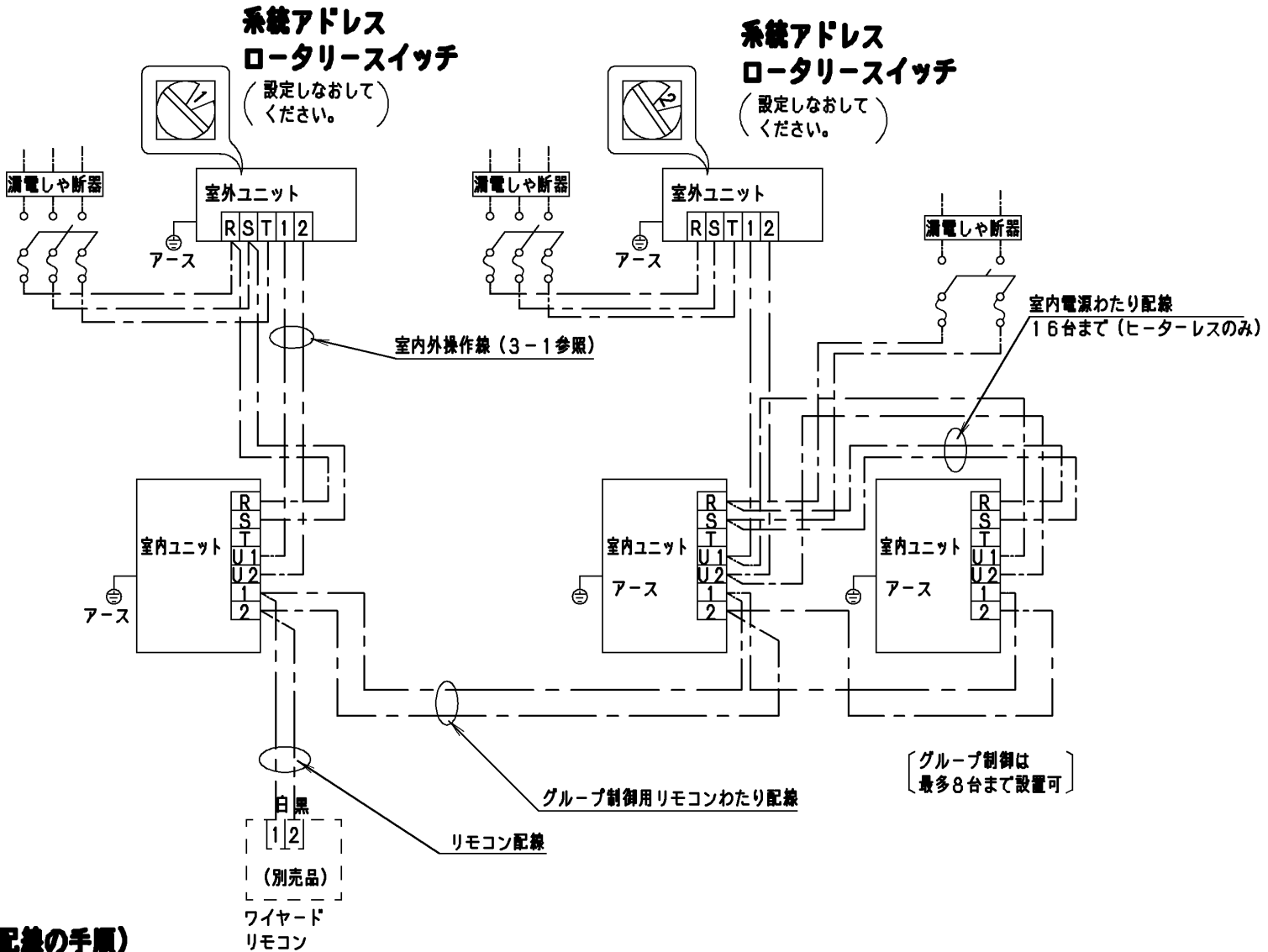
システムコントロールとは、同時運転マルチ、グループ制御、親・子リモコン制御、リンク配線接続し、制御する場合です。

３－１　基本配線図１　シングルタイプの場合。

● 配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

注）室内外操作線の室内ユニット側接続端子番号は、
　　機種により「１・２」と「Ｕ１・Ｕ２」があります。

＊自動アドレスの設定方法（室外ユニットが１台の場合）
　室内、室外電源を入れると自動アドレス設定が開始されます。
　（圧縮機は運転しません。）

３－２　基本配線図２　グループ制御の場合。（集中制御機器を使用しない場合）

●１個のリモコンで、室内ユニット最多８台まで接続可能です。
（冷媒系統が室外ユニット１台に対し室内ユニット２台の場合）
手元電源スイッチを入れる前に、系統アドレス（冷媒配管系統アドレス）の設定をしてください。
（３－３室外ユニット系統アドレスの設定方法参照）
（室外コントロール基板、系統アドレスロータリースイッチで設定してください。）

（配線の手順）

１．リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板（１．２）に接続してください。（リモコン配線）
２．室内ユニット（Ｕ１．Ｕ２）と室外ユニット（１．２）を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット（冷媒系統が異なる）も同様に行ってください。（室内外操作線）
　　冷媒系統毎の室内ユニットの（Ｕ１．Ｕ２）間のわたり配線をそれぞれ接続してください。（室内外操作線）
３．室内ユニット（リモコンを接続したユニット）リモコン配線用端子板（１．２）から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板（１．２）にリモコンわたり配線（２線）をそれぞれ接続してください。（リモコンわたり配線）
４．自動アドレスの設定は、室内外共電源を入れ、リモコンで設定してください。
　　（自動アドレスの設定方法３－４参照）

注）＊補助ヒーター内蔵機種は室内ユニット電源線の゛わたり配線゛方式はできません。（プルボックスで分岐してください。）この制御を行なうときは、必ず室内ユニット室温センサー（ボディセンサー）で使用してください。（工場出荷状態）

3－3　室外ユニット系統アドレスの設定方法　基本配線図２の場合（系統アドレス１、２、３・・・と設定してください。）

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位（２Ｐディップスイッチ）１０位２０位	系統アドレス　１の位（ロータリースイッチ）
０　　自動アドレス（出荷時設定"０"）	両方共ＯＦＦ	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共ＯＦＦ	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合） ：	両方共ＯＦＦ ：	設定２ ：
１１（室外ユニットが１１号機の場合） ：	１０位が ：ＯＮ	設定１ ：
２１（室外ユニットが２１号機の場合） ：	２０位が ：ＯＮ	設定１ ：
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が ＯＮ	設定０

３－４　リモコンからの自動アドレス設定方法　基本配線図２の室外ユニットが複数台でグループ制御の場合

自動アドレスは、リモコンで設定してください。（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示します。）

●リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押してください。（４秒以上）
その後 セット ボタンを押します。（項目コード"ＡＡ"表示：全体自動アドレス）
（室外ユニットを１号機から３０号機まで自動で順次自動アドレスを行い終了し、通常の停止状態にもどります。）

●１冷媒系統毎に個別選択して、自動アドレスを行ないたい場合は、リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押し（４秒以上）、設定温度 ▲／▼ ボタンどちらかを押してください。
（項目コード"Ａ１"表示：系統別自動アドレス）
自動アドレスしたい室外ユニットを ユニット選択 ボタンで選び（"系統１"表示）セット ボタンを押します。
（１冷媒系統の自動アドレスを行ないます。）系統１の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。

再度、リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押し、前と同じように
（ユニット選択 ボタンで"系統２"表示）指定し、順次行ないます。

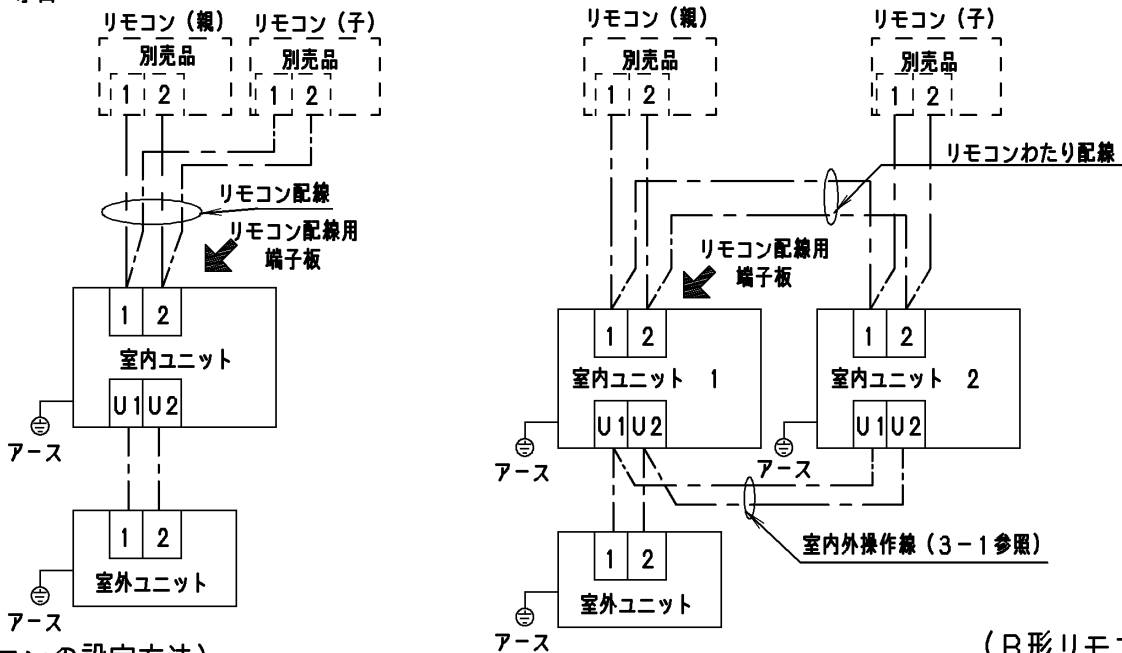
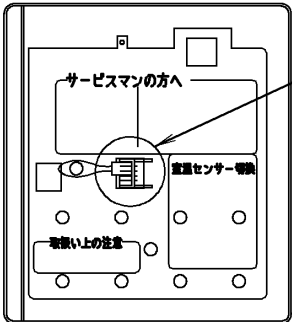
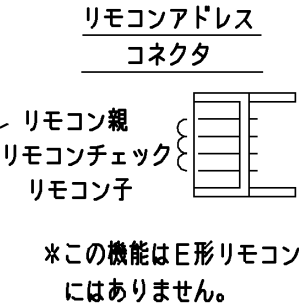
3－5 室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い
自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1．複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。
（例）（室外）1－（室内）1、2・・・ （室外）2－（室内）1、2・・・
2．メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。
※リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。点検 ボタン＋換気 ボタンを４秒以上押し（簡単設定モード）ユニット選択 ボタンで室内アドレスを指定します。（ボタンを押すごとに1－1、1－2・・・2－1、2－2・・・と変更します。）選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転しますので、確認し、室内ユニットのアドレス表示をしてください。
再度、点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

3－6 親・子リモコン制御 2個のリモコンで制御する場合。
この親・子リモコン制御は、１台もしくは複数台の室内ユニットを２個のリモコンで操作するものです。（最多2個まで接続可能です）

• 室内ユニット１台を、リモコン２個接続して操作する場合

リモコン（親）
別売品
1 2
リモコン（子）
別売品
1 2
リモコン配線
リモコン配線用端子板
1 2
室内ユニット
U1 U2
アース
1 2
室外ユニット
アース

• 同時運転マルチをリモコン２個接続して操作する場合

（E形リモコンの設定方法）
1．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。
2．その他のリモコン（子リモコン）は、セット＋運転切換ボタンを４秒以上押します。
3．温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで項目コード０１を指定します。
4．時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを０００１（親）から００００（子）に変更します。
5．セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
6．点検ボタンを押します。
子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

サービスマンの方へ
室温センサー切換
取扱い上の注意
リモコンアドレスコネクタ
リモコン親
リモコンチェック
リモコン子
B形リモコン基板裏側
*この機能はE形リモコンにはありません。

（B形リモコンの設定方法）
1．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。
2．その他のリモコン（子リモコン）は、リモコン基板裏のリモコンアドレスコネクタをリモコン親→子にさしかえてください。この状態で子リモコンとして機能します。
子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

裏面につづく

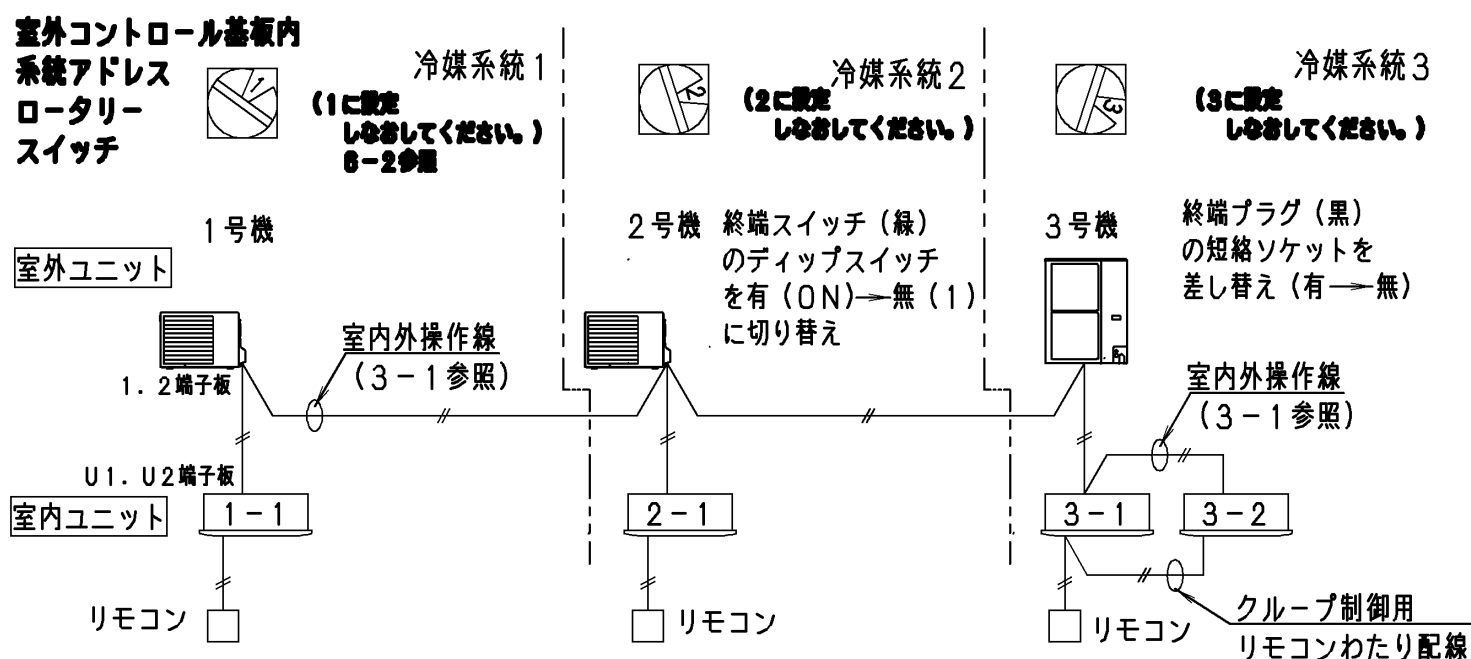
試運転担当のかたへ （リンク配線の場合）

本試運転担当のかたへは、室内ユニットに添付されている、試運転担当のかたへと異なる部分のみ記載しています。合わせて参照してください。

１． 自動アドレスの設定方法

２−１ 基本配線図　●リンク配線。

注意：室外コントロール基板に取り付けてある終端スイッチ（緑）のディップスイッチは１台だけ有（ＯＮ）にしておいて、他は有（ＯＮ）──→無（１）に切り替えてください。

注意：グループ制御。１個のリモコンで、室内ユニット最多８台まで接続可能です。

リモコンから自動アドレスの設定方法

ケース1

● 1冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がONにできる場合。
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

系統別自動アドレス：項目コード"A1"表示。

1．リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押します。（4秒以上）

2．次に設定温度 ▲／▼ ボタンどちらかを押してください。（項目コード "A1"を確認して下さい。）

3．自動アドレスしたい室外ユニットを ユニット選択 ボタンを選択し、E形の場合 セット ボタン、B形の場合 セット/取消 ボタンを押します。
（系統1表示し、1冷媒系統の自動アドレス設定を行ないます。）
系統1の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。 <約4分から5分かかります。>

（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示し、完了時には消灯します。）

ケース2

● 1冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がONにできない場合。
圧縮機を運転しないと室内ユニットアドレスの自動設定ができませんので冷媒配管工事を完了してから行ってください。

全体自動アドレス：項目コード"AA"表示。

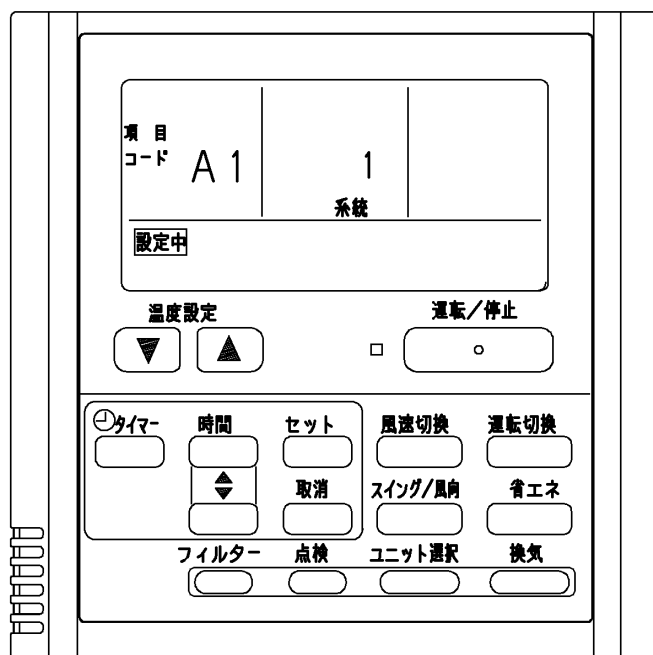
1．リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押します。（4秒以上）

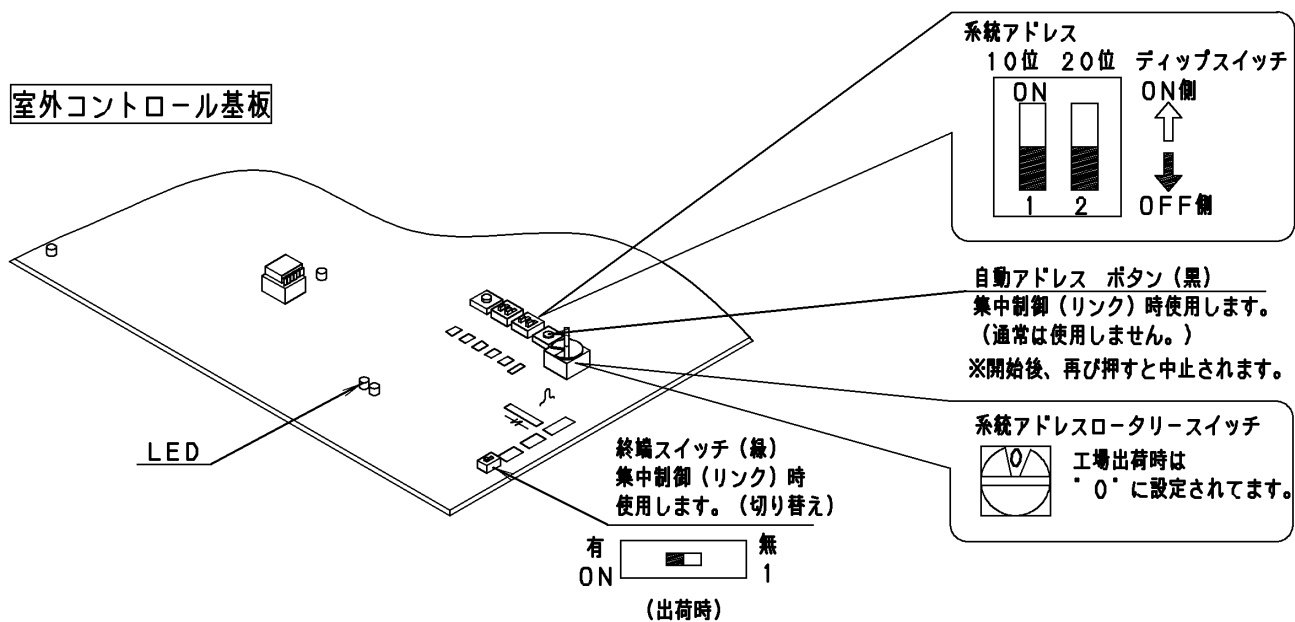
2．次にE形の場合 セット ボタン、B形の場合 セット/<取消> ボタンを押します。
（室外ユニットを1号機から30号機まで自動で順次自動アドレスを行ない、終了したら通常の停止状態に戻ります。）

<1系統につき約15分かかります。>

（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示し、完了時には消灯します。）

B形リモコン

<E形リモコン>

２－２　室外ユニット系統アドレスの設定方法

基本配線図の場合。（系統アドレス１、２、３・・・と設定してください。）

室外ユニットからの自動アドレス設定方法室内ユニットに添付してある"試運転担当のかたへ"を参照してください。

※１冷媒系統毎に室内外ユニットの電源がＯＮできる場合。（圧縮機は運転しません。）

　１．１冷媒系統の室内外ユニットのみの電源をＯＮして、室外ユニットの自動アドレスボタン（黒）を１秒間以上押してください。（室外ユニット基板上のＬＥＤ１と２が交互点滅し、完了時は消灯します。）

　２．同様の動作を繰り返してください。

（１）．フロントパネル（Ｌ字形、ビス左右３本、正面１本）を外します。

（２）．電装ボックス樹脂蓋を外します。（基板が見えます。）

（３）．自動アドレス設定等を行ってください。

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位（２Ｐディップスイッチ）１０位２０位	系統アドレス　１の位（ロータリースイッチ）
０　　自動アドレス（出荷時設定"０"）	両方共ＯＦＦ	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共ＯＦＦ	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合） ：	両方共ＯＦＦ ：	設定２ ：
１１（室外ユニットが１１号機の場合） ：	１０位が ：ＯＮ	設定１ ：
２１（室外ユニットが２１号機の場合） ：	２０位が ：ＯＮ	設定１ ：
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が ＯＮ	設定０